
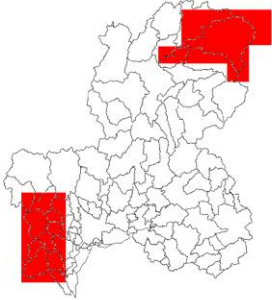


クサフジ	<i>Vicia cracca</i> L.	絶滅危惧Ⅱ類
		マメ科
選定理由	もともと生息地が少ない。花が美しく、容易に近づけるため採取されることがある。	写真(福岡義洋) 
形態の特徴	茎はつる状で長さ150cmに達する。葉は偶数羽状複葉で、先端は巻きひげになる花は青紫色、花柄は萼筒の後ろ端につく。葉腋から出る総状花序に多数の花をつける。豆果は長楕円形で無毛。	
生態的特徴	マメ科の多年草。花期は5-9月。石灰岩地に成立している草原に群落を形成している。岐阜県では、道路わき明るい乾燥した、標高は1500mあたりの涼しいところなどに生育している。山野の草地や林縁に生える。	
分布状況	北海道から九州に分布し、アジアからヨーロッパ、北アメリカなどに広く分布する。岐阜県では、県北と県南西部に見られる。	
減少要因	林道わきなどに生育するため、過度の草刈りなどによる減少や、道路拡張などによる環境の改変が減少の要因。	
保全対策	道路拡張などによる環境の改変で、その個体群が絶滅するおそれがあり、工事の際には特に慎重を期する。	
特記事項		
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ 保育社 1961 日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類 平凡社 1982	

文責:福岡義洋